

周作クラブ会報

(第101号)
2025年11月30日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

周作忌・総会報告	1〜2面
会計報告・会則	3〜4面
遠藤周作学会報告	5面
遠藤周作文学館便り	6面
周作クラブ長崎便り	7面
お知らせ欄	8面

2025周作忌開催

コロナ禍を経て、今年の「周作忌の集い」は、久しぶりに命日に開催された。9月29日(月)、慶應義塾大学・三田キャンパス内の「ザ・カフェテリアA」には参加者80余人が集い、立食形式で行われた。スペシャルゲストに映画「深い河」で主役を演じた秋吉久美子さんを迎え、故人の思い出を語りながらひとときを過ごした。

「女優とはそこまで演じるものか」と原作者を感嘆させた秋吉久美子さん

18時30分、定刻に加藤宗哉会長代行の発声で「周作忌の集い」がスタートした。遠藤龍之介さんが、「父が亡くなって30年近く経つのに、このように皆さんに集まっていたいて、遺族として感謝しております」と挨拶。

続いて秋吉久美子さんが登壇し、スピーチされた。遠藤周作との出会いは、20代のころに「婦人公論」で対談したところだったという。秋吉さんは、1995年に劇場公開された「深い河」の貴重な出演エピソードを語った。
(次頁に続く)



▲秋吉久美子さんと遠藤龍之介さん



▲長部聡介さんによる献杯

総会報告——第25回定時総会

「周作クラブ」第25回定時総会は、9月29日(月)、慶應義塾大学三田キャンパス内・東館5階会議室で16時半から開かれた。出席総数は、委任状185通を合せて計209名(過半数は167)で、総会は成立した。会議に先立ち、宮辺尚幹事(会員担当)から会員数についての報告があった。この1年間における入会者は18名、退会者は21名で、計3名の減少(前年度は2名減)。9月29日現在の会員総数は333名(ただし「周作クラブ長崎」(52名)は除く)。この報告のあと、幹事会から推薦で会員の大原雄さんが議長として選出され、議事に移った。

●第1号議案——前年度事業報告

(今井真理幹事)

昨年の総会から本年8月までの事業は、▽2024周作忌(9/28 慶應義塾大学三田キャンパス)シンポジウム「永井荷風と遠藤周作」(北館ホール)、周作忌の集い(西校舎「山食」)▽新年会・福引付き(1/25 新宿・三井住友ビル内)▽春のセミナー「ユリアとよぶ女」について(4/5 慶應義塾大学三田キャンパス内「萬來舎」)▽「遠藤文学・原点の旅」5/18〜19「ユリアとよぶ女」と駿河・網代・熱海▽「会報」は予定通り計4回を発行

●第2号議案——前年度会計報告

(二田佳希幹事)

前年度の収支および繰越金は3頁掲載の通り。監査結果も報告され、すべて承認された。

●第3号議案——今年度事業計画

(今井幹事)

▽秋のオンラインセミナー(11/1)

「周作クラブ新年会」のお知らせ(本報8頁に掲載)

▽「新年会」を広尾のレストランで開催(1/31)▽「遠藤文学・原点の旅」のための「文学セミナー」を開催(4月予定)▽「遠藤文学原点の旅」(5月予定)……詳細は次号会報で発表▽周作忌(9月)▽年間4回の「会報」発行

●第4号議案——今年度予算

(二田幹事)

3頁掲載の通りに提案されて承認。

●その他 今年度は役員改選の時期ではないため、昨年から継続のメンバーの氏名だけが、加藤代行から読み上げられた。

なお、会報委員の丸田明利、杉本佳奈の両氏が101号より副編集人となることが報告された。

周作クラブ役員・委員一覽2024

敬称略(項目中は五十音順)

会長代行 加藤宗哉

顧問 黒井千次

幹事 一田佳希(会計・編集担当)

今井真理(総務担当)

亀岡園子(編集担当)

清水優子(総務・zoom担当)

宮辺尚(会員管理担当)

監査 大澤眞里/高田幸子

総務委員 石井由里亜(旅行担当)

/田村百合子

会報編集長 亀岡園子

顧問 山根道公

会報委員 大原雄/近藤恭弘/杉本

佳奈/高木香織/丸田明利

【会計・会員管理】委員 伊東智香/樋口(八木)文子